



# 柔道界の願い“事故ゼロ”を目指して

「安全指導特別プロジェクト」特別委員会 佐藤 幸夫

2010年6月29日、「安全指導特別プロジェクト」がスタートしました。委嘱を受けた18名の委員は、柔道をこよなく愛し、経験も豊富です。また、事故防止に対する意識も高く、会議では冒頭から具体的な提案による活発な意見交換が行われました。

柔道の安全対策は多岐にわたり、迅速な対応が求められています。プロジェクトでは、次の2つの課題を同時並行で進めながら、実行計画1～6で“事故ゼロ”を目指します。

- ① 将来を見据えた組織的・計画的な取り組み
- ② 今できること、しなければならないことの洗い出しと着実な実践

## 《実行計画》

### 1 冊子「柔道の安全指導」の再改訂

本冊子は2006年4月に発行、翌年7月に一部改訂したものです。安全指導講習会のテキストとして配布され、日々の指導や稽古の手引として活用されています。これまでこのようなテキストがなかったこともあり、多方面で引用されてもいます。

一方、広くいきわたり、活用されることで使い勝手や内容についての希望や意見も聞きます。その主なものは、「ケガや事故がどのようなときに、どのようにして起きるのかを知りたい」、「頭部打撲や頸椎損傷など重大事故発生時の見極めと適切な対応の仕方」などで、再改訂作業にあたっても重点的検討事項として扱っています。

### 2 安全に特化した指導法の開発、事故防止啓発リーフレット及びDVDの作成

事故防止の究極は、指導者・競技者それぞれが「ケガをしないさせない」意識を強く持ち、実践力を身に付けることにあります。そのために、事故防止の心得や要点などをポスターやリーフレットにし、道場などに掲示することで注意を喚起していきます。

また安全に特化した指導法を探り、そのDVD化についても検討します。全柔連指導者養成プロジェクト編集の「柔道 授業づくり教本」(2010年6月発行)は、中学校武道必修化をひかえ、柔道を専門としない保健体育科教員が安心して授業ができるよう配慮をしています。とりわけ安全面については、「ケガをしないさせない」ために「動作」「怪我」「原因」「指導法」の手順で丁寧に説明しているのが分かりやすいと好評です。ただ、中学校の体育の授業を前提に扱う技を限定しているのが、高等学校の授業や部活動にも対応できるようにしたいと考えます。

また安全に特化した指導法を探り、そのDVD化についても検討します。全柔連指導者養成プロジェクト編集の「柔道 授業づくり教本」(2010年6月発行)は、中学校武道必修化をひかえ、柔道を専門としない保健体育科教員が安心して授業ができるよう配慮をしています。とりわけ安全面については、「ケガをしないさせない」ために「動作」「怪我」「原因」「指導法」の手順で丁寧に説明しているのが分かりやすいと好評です。ただ、中学校の体育の授業を前提に扱う技を限定しているのが、高等学校の授業や部活動にも対応できるようにしたいと考えます。

# 柔道の安全対策について

シリーズ ..... ②

### 3 安全指導講習会受講の義務化

安全指導講習会はこれまで、各都道府県柔道連盟(協会)、高体連、中体連などが主催し、年間20回程度のペースで開催してきました。しかし、主催者からは「受講を義務付けていないことあって、すべての指導者に趣旨が徹底できていない」との指摘もあります。“事故ゼロ”の達成には、趣旨の徹底と指導者の全面的な協力が不可欠です。そのために、安全講習会を指導者の皆さんが受講する研修とし、普段の指導を見直し、安全を再確認する場とします。

実施に向けて、講習会の運営主体や受講履歴の管理、受講間隔など要項の作成を進めています。また、実施に当たっては、「全国安全指導担当者連絡協議会(仮称)」を開催するなど、趣旨の説明や研修、情報交換などを行います。

### 4 事故原因の分析と究明

的確な安全対策は、確かな原因分析と究明にあります。そのために、統計的処理や運動学的な分析のみならず、他の科学的手法を駆使して事例を分析し、原因究明を行います。

事例の分析には、正確かつ詳細な事故報告が必要です。しかし現状は、記入の不備が多く、問い合わせをしても守秘義務を理由に回答しないケースさえあります。マスコミ報道レベルの情報による分析では限界があります。より正確・詳細な情報を収集し、安全対策に資する原因分析と究明のため、各分野の専門家て構成する「柔道事故調査委員会(仮称)」の設置について検討します。

### 5 柔道の施設・用具の整備と開発

柔道場の畳や床の緩衝装置の不備が、事故を招くこともあります。単に柔らかければよいというのではなく、技術レベルに応じたスプリングと畳表面の状況が求められます。

施設・用具については、所管の総務委員会「公認用具(畳の)指定業者制度担当」に検討をお願いします。

### 6 安全を考慮した審判規定の検討

稽古では、技術や体力の実態を考慮し、用いる技を限定することが安全上欠かせません。試合も同様で、現行の講道館試合審判規定・少年規定の趣旨でもあります。したがって、所管の審判委員に検討をお願いします。

1～6の実行計画は、10月4日の理事会にて了承済みです。後は、いかに実行していくかです。具体的な対策は、緊急の対応やじっくり時間をかけて検討すべきこと、個々の努力や組織的取り組みなど多岐にわたります。一方で、予算措置の可否についての検討も必要です。いずれにしても、柔道にかかわる方々の尽力なくして達成できません。ご理解とご協力をお願いいたします。

Otsuka

POCARI SWEAT

ポカリスエットは、財団法人 全日本柔道連盟を応援しています。

日本航空

JALは全日本柔道連盟を応援しています。

世界の空でお会いしましょう。

JAL